

## 平成26年度 「みんなの力でつくるまち」活動支援事業評価報告書

事業名	「『自然と共に生きる軽井沢』シンポジウムとワークショップ—行政と住民の協働を目指して—」
団体名	軽井沢サクラソウ会議
総事業費	262,702円（うち補助金：114,000円）

### 事業内容

専門家を招いて、軽井沢の自然環境に関するシンポジウムを行う。参加者で行政・企業・住民でできることを話し合い提言をまとめ、シンポ終了後、その記録集を作成する。

国土地理院発行の地形図をもとに、軽井沢サクラソウ会議が塗り分けた軽井沢町の100年間の土地利用変遷図を提供し、住民の共通認識の土台とする。



【鷲谷いづみ教授の講演

「サクラソウから見た軽井沢」】

【目標・ねらい】

- 軽井沢の自然環境を科学的客観的に評価する。
- 行政・企業・住民の協働の可能性を探る。
- 行政に対して建設的な提言を行い、今後のまちづくりに寄与する。

自己評価（目標達成率）

【 A 】

### 事業効果

軽井沢の自然環境が全国的に見て貴重なものであり、特に「半自然草原」に生育していた種が絶滅の危機のある事が明らかになった。行政との協働の余地が多くあり、軽井沢サクラソウ会議の活動内容がその多くにあてはまる事が明らかになった。住民に対してさらに自然環境に関する関心を高めていく必要がある事が明確化された。

### 今後の取り組み

作成した『記録・提言集』を元に、まちづくり提案を行う。

これまでの活動内容が、長野県行政が必要としていることと合致していることが明確になったので、継続して活動を行うことへの確信を得た。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70～89%「C」50～69%「D」49%以下で示すこと。